

保護者の皆様

大阪府立八尾支援学校  
校長 山中 矢展  
准校長 中谷 朋世

## 28年度 学校教育自己診断結果について【報告】

早春の頃、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。  
さて、昨年10月に配付しご協力いただきました学校教育自己診断につきまして報告させていただきます。  
なお、記述回答につきましては、複数寄せられたご意見を中心に回答させていただきました。

★報告の内容は下の4項目です。



(1) 提出率
(2) 集計結果・分析 (生徒・保護者・教職員)
(3) 記述回答
(4) まとめ

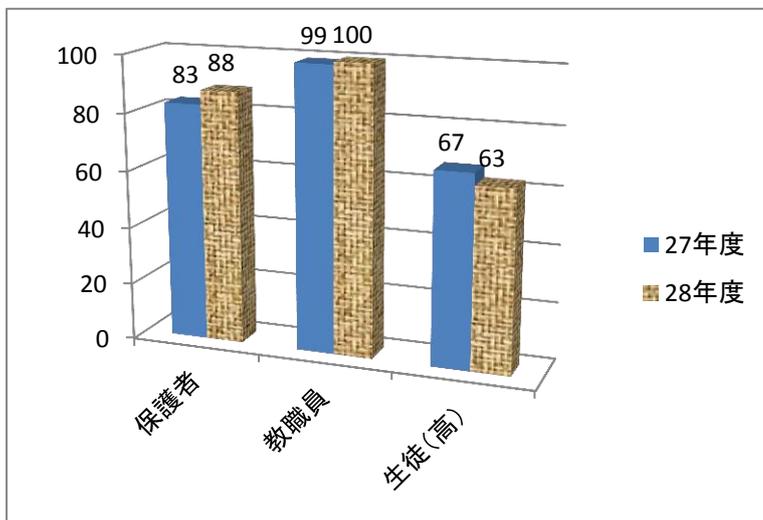
★★★今年度の学校教育計画の達成度を測る基準★★★

- \* 回答欄の「そう思う」または「だいたいそう思う」と回答があったものを肯定的と捉え、逆に「あまり思わない」や「思わない」と言う回答を否定的と捉えました。
- \* 全体に占める割合において肯定的は70%以上を基準として達成度を測っています。また、否定的は30%以上を課題として捉えることとしています。

### (1) 提出率

	提出数	提出率	合計	総合・提出率
保護者	326/372人	88%	507/553人	92%
教職員	181/181人	100%		
生徒(高等部)	59/94人	63%		

\*前回との比較



### 【分析】

- 保護者は、前回と比較して、5%上がりました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。次年度もより効果的な回収方法を工夫しながら保護者の皆様にご協力をお願いしたいと思います。
- 教職員についても、1%上がりました。引き続き自己診断の趣旨・ねらい等を踏まえながら主体的な参画を図りたいと思います。
- 生徒については、前回より4%下がりました。引き続きご協力をお願いし、次年度上昇を図ります。

## (2)集計結果・分析

■肯定的意見90%以上 △肯定的意見5%以上の上昇  
▼肯定的意見5%以上の下降

### 【① 生徒向け（高等部のみ）】

		28年度 %		27年度 %		比較
		肯定	否定	肯定	否定	
1	学校へ行くのが楽しいですか。	83	7	80	10	
2	学校でのできごとをよく話しますか。	53	22	62	28	▼
3	授業は理解しやすいですか。	64	14	73	3	▼
4	学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができますか。	73	9	66	6	△
5	先生とよく話をしますか。	80	9	79	8	
6	先生はがんばったことをほめてくれますか。	86	3	85	6	
7	先生はこまっているとき、たすけてくれますか。	81	3	75	3	△
8	進路についていろいろと教えてもらえますか。	54	9	39	14	△
9	遠足、宿泊学習、修学旅行は楽しいですか。	81	3	85	7	
#	運動会、学習発表会は楽しいですか。	81	9	79	10	
#	給食はおいしいですか。	■90	0	86	7	

- 11項目中、達成基準に達したもの（70%以上）は、8項目でした。
  - ・高等部が本校に戻って2年目、環境面にも慣れ、安定してきた結果であると考えられます。
  - ・4番『学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができる』が7%上昇し、達成基準に達しました。今後も大切な指導として取り組んでいきたいと思ひます。
- 基準に達成しなかったものとしては、次の3項目が挙げられます。
  - ・2番『学校でのできごとをよく話す』は昨年度より7%下降しました。年齢的なものもあるのではと考えますが、もう少し広げていければと思ひます。
  - ・3番『授業は理解しやすい』が、今年度肯定的意見が減少し否定的意見が増加して、基準からはずれる結果になりました。課題が生徒に合っているか常に意識しながら、生徒たちの声を真摯に受け止め、よりわかりやすい授業を考えて、授業力の向上へつなげていかなければと思ひます。
  - ・8番『進路について教えてもらえる』は、54%という結果ですが、昨年度よりさらに17%上昇し、この2年で30%の上昇が見られました。今後も学校としてキャリア教育に力を入れつつ、卒業後のイメージを持てるように支援しながら、1～3年までの継続した進路学習に取り組んでいきたいと思ひます。生徒たちの進路への関心を高めるとともに、引き続き聞きやすい・相談しやすい体制・環境づくりに努めていきたいと思ひます。
- 否定的意見が30%以上のものは、昨年度と同様ありませんでした。

■肯定的意見90%以上

△5%以上上昇 ▼5%以上下降

【 ② 保護者 】

		28年度 %		27年度 %			
		肯定	否定	肯定	否定		
子どもの様子	1	学校へ行くことを楽しみにしている。	91	6	87	9	
	2	授業を楽しみにしている。	83	10	81	11	
	3	給食を楽しみにしている。	86	10	84	11	
	4	学校行事（運動会・学習発表会・校外学習・宿泊学習など）を楽しみにしている。	82	8	86	8	
教育活動	5	『個別の教育支援計画』にもとづいた支援を行っている。	90	5	86	6	
	6	『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	91	4	84	6	△
	7	子どもの発達段階や課題に応じた授業を行っている。	86	9	82	10	
	8	教科学習や生活指導における教材や教具は工夫・配慮されている。	87	6	84	7	
	9	『学校生活の記録』『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	92	3	92	3	
	10	検診や測定、食育活動、手洗い、歯磨き指導などを通じ、適切な健康教育を行っている。	89	5	89	3	
	11	避難訓練（地震、火災、不審者、スクールバス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	91	3	89	2	
	12	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行っている。	76	7	73	9	
	13	あいさつや規則を守る指導を通じて、適切な道徳教育を行っている。	82	7	83	6	
	14	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	77	11	71	12	△
15	近隣の小・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流機会を設けている。	74	12	72	15		
保護者との連携	16	健康に必要な情報（保健だより・食育だより）を適切に提供している。	97	1	92	1	△
	17	進路に関する情報（進路だよりや保護者説明会など）を適切に提供している。	92	4	92	5	
	18	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。	88	6	84	8	
	19	P T Aは、活動を積極的に行っている。	88	4	85	3	
	20	学習や生活の様子など、連絡帳や学年通信、また懇談会や授業参観などを通じて知ることができる。	94	4	95	3	
教育環境その他	21	教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境、また授業で使用する教材や内容提示の方法などが、児童・生徒の特性に応じて視覚的にわかりやすく示されている。	86	7	85	7	
	22	受付時のチェック体制など、不審者への対応を適切に行っている。	87	6	90	4	
	23	校内でのけがや病気に対する適切な対応ができている。	87	4	88	2	
	24	校内はいつもきれいで清掃が行き届いている。	75	19	73	20	
	25	施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。	71	20	71	18	
	26	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	83	6	66	8	△
高のみ	27	企業・施設・作業所等の進路について必要な情報を提供している。	86	9	92	6	▼
	28	企業実習・作業所実習の取り組み・支援が適切に行われている。	78	13	84	10	▼

- 28項目中、すべての項目が達成基準に達しました。
- 26番の『防災の取り組み』の項目は、今年度大幅に上昇し、達成基準に達しました。個人備蓄のご協力をしていただいたことや二次避難についての取り組みなどを通して、周知が進んだことが考えられます。
- 14番の『キャリア教育（自立に向けた教育）』について、進路だよりや懇談・説明会等で徐々にことばの理解が進んだのではと考えています。今後もわかりやすく伝えていけるように、工夫を重ね、また「ライフスキル」についてもさらに深めながら、日々の取り組みにつなげたいと思います。
- 否定的意見が3割を超えたものは、ありませんでした。が、否定的意見の数値の大きい24番の『校内の清掃』、25番の『施設・設備の整備』について、引き続き課題と捉えます。校内清掃の徹底や30年度の改修に向け計画を進めるなどを図っていきたいと思います。

【 ③ 教職員 】

■肯定的意見90%以上

△5%以上上昇 ▼5%以上下降

		27年度 %		27年度 %			
		肯定	否定	肯定	否定		
教育活動	1	『個別の教育支援計画』にもとづいた支援を行っている。	■95	2	■96	4	
	2	『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	■95	4	■95	4	
	3	発達段階や課題に応じた授業を行っている。	■93	4	■99	1	▼
	4	学習や指導における教材や教具は、工夫・配慮している。	■94	4	■99	1	▼
	5	『学校生活の記録』『学習の記録』を通じて、学習状況や成果など適切に評価している	■93	4	■98	2	▼
	6	検診や測定、食育活動、手洗い、歯磨き指導などを通じ、適切な健康教育を行っている	■97	2	■100	0	
	7	避難訓練（地震、火災、不審者、スクールバス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	■95	4	■95	5	
	8	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行っている。	■93	4	■97	3	
	9	あいさつや規則を守る指導を通じて、適切な道徳教育を行っている。	■91	8	■95	5	
	10	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	■91	8	■90	9	
	11	企業実習・作業所実習の取り組み・支援を適切に行っている。	86	9	89	9	
	12	近隣の小学校・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流の機会を設けている。	87	11	86	14	
保護者との連携	13	保健だより・食育だよりなど、健康に必要な情報を適切に提供している。	■97	2	■99	1	
	14	進路について必要な情報（進路だよりや保護者説明会）、また企業・施設・作業所等の情報を提供している。	■93	6	■95	5	
	15	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に対して、適切に対応している。	■95	3	■97	3	
	16	P T Aは、活動を積極的に行っている。	■93	5	■97	3	
	17	連絡帳や電話を通じて、保護者との連携をきめ細かく行っている。	■98	1	■99	1	
	18	連絡帳や学年通信を通じて、学習予定や内容などを積極的に提供している。	■97	2	■98	2	
視覚支援	19	教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境を、児童・生徒の障がい特性に応じて視覚的にわかりやすく示している。	■95	3	■97	3	
	20	児童・生徒の特性に応じて、授業が視覚的にわかりやすくなるよう、教材や内容提示の方法などを工夫している。	■94	3	■98	2	
組織マネジメント	21	校長・准校長は自らの教育理念や学校経営について、考え方を明らかにしている。	■94	4	■97	3	
	22	校長・准校長は学校経営にリーダーシップを発揮している。	■90	9	■94	6	
	23	学校運営に教職員の意見・意向が反映されている。	71	27	80	20	▼
	24	学校運営に関する必要な情報が全体に知らされている。	82	16	86	14	
	25	会議の結果が教育活動や学校運営に生かされている	80	19	85	15	▼
	26	日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場である。	75	24	76	23	
	27	体罰の防止等の人権尊重について、日々の教育活動に反映できるよう、研修等に取り組んでいる。	■91	7	■95	5	
	28	初任・経験の少ない教職員への、育成における取り組みは積極的である。	79	20	74	26	△
	29	分掌、学部、学年それぞれの連携は図られている。	74	24	78	22	
	30	労働衛生環境は少しずつ改善している。	49	50	53	47	
	31	勤務実態や休憩時間、教材研究や授業時間の準備など、労働条件は少しずつ改善している。	43	56	46	53	
	32	学校の課題を見つけ、改善に向け取り組みを行っている。	75	23	80	19	▼

- 1～20番までの20項目中、すべて肯定的意見が7割を超え、達成基準に達しました。
- 21～32番までの「組織マネジメント」12項目では、30番『労働衛生環境』、31番『労働条件』の2項目が7割に達せず、否定的意見の3割を大きく超えました。例年このような状況が続く中さらに数値が下がっていますので、業務の調整や時間の合理化など改善を進めていければと思います。それに次いで否定的意見の数値の大きい項目（20%以上）についても、今後改善に向け細かく検討していきたいと思います。

### 【③ 教職員つづき】

■肯定的意見90%以上

△5%以上上昇 ▼5%以上下降

			28年度 %		27年度 %		
			肯定	否定	肯定	否定	
地域連携	33	地域支援においてセンター的機能を発揮し、リーディングスタッフやコーディネーターが動きやすい体制が整っている。	86	11	84	16	
	34	地域の幼稚園・保育所・小中学校・高等学校との連携・支援を行っている。	86	12	84	15	
	35	言語聴覚士・臨床心理士・医師・子ども家庭センターなど、外部機関と連携し児童・生徒の支援を行っている。	88	9	89	10	
	36	消防署や警察と連携した『子どもの安全を守る』訓練は充実している。	■92	6	89	11	
	37	地域に開かれた研修会が行われている。	86	12	89	13	
教務	38	公文書や指導要録等の管理は十分に配慮されている。	■93	4	■97	3	
総務	39	施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。	61	38	56	43	△
	40	学校予算は適正に編成・執行されている。	81	17	85	15	
	41	P T A活動への教職員の理解・参加・協力は積極的である。	81	17	85	15	
	42	個人情報の管理における校内システムは確立している。	■91	7	■90	10	
	43	情報公開に対応するための教職員の共通理解が図られている。	88	11	86	14	
	44	I C T教育の推進に必要な機器（大型モニター、タブレット端末など）は充実している。	71	28	75	25	
	45	日々の教育活動においてI C T機器（大型モニター、タブレット端末など）を積極的に活用している。	83	16	86	14	
行事	46	運動会や学習発表会、作品展等の校内行事の運営が適切に行われている。	■95	4	■97	2	
生活安全	47	生徒指導について組織として迅速に対応できている。	■92	7	89	11	
	48	全校集会など児童・生徒会活動は活発である。	■92	7	■92	8	
	49	校内外における行方不明対策や校内巡視は整備されている。	89	10	■94	6	▼
	50	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	89	10	■90	10	
	51	校内の清掃活動を意欲的に取り組んでいる。	76	22	82	18	▼
	52	保健室は健康に関する相談がしやすい。	■94	4	■96	4	
	53	校内でのけがや病気に対し適切な対応をしている。	■97	0	■100	0	
	54	給食は子どもの実態に合ったように作られている。	■92	5	■95	4	
支援教育	55	校内支援（ケース会議・言語聴覚士相談・臨床心理士相談など）が受けやすい体制が整っている。	■90	7	87	12	
	56	校内研修は計画的に実施されている。	■90	9	■97	3	▼
	57	校内研修は、専門性を高めて日々の教育活動に活かすことができる。	87	12	■90	10	
進路	58	進路指導に関する教職員向け研修や学習会が計画的に実施されている。	■91	7	■91	9	
	59	卒業生のアフターケア（進路先訪問や進路の変更の相談など）が行われている。	86	12	88	9	

- 33～59番までの27項目中、26項目が達成基準に達しました。
- 唯一達しなかった39番『施設や設備は安全に整備されている』は、今回5%数値が上がりました。安全点検の方法が変わり、修繕や整備に速やかに反映されるようになりました。次々年度さらに、管理棟（現在中学部のエリア）や作業棟を中心に、大規模改造工事が実施される予定です。次年度はその実施設計がなされ、改善に向けて進めていきたいと思っております。
- 否定的意見の数値の高い項目（20%以上）についても、特に細かく検討していきます。

#### 《保護者・教職員を比較して》

- 「教育活動」「保護者との連携」に関する項目では、ほとんどの項目で達成基準【7割】を超える評価となり、保護者と学校間の共通認識や連携は円滑に図られているものと考えます。
- 教職員と保護者の評価の間に10%以上開きのある項目が、共通項目23項目中3項目となりました。①『人権尊重にもとづいた指導』（差17%）、②『キャリア教育』（差14%）、③『交流教育』（差13%）があります。①については今後も障がいの特性をしっかりとふまえた指導や人権尊重の関係づくりなどの取り組みを行いたいと思っております。②は日々の取り組みがキャリア教育としてつながっていることを意識しながら指導し、保護者にわかりやすく伝えるよう努めます。③も引き続き学年だよりや学校ブログなどで発信し、周知を図ります。

**(3) 記述回答【多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。要約しますと以下の通りです。】**

1 施設設備に関して

**○老朽化した施設・設備を安全に整備してほしい。明るくしてほしい。**

平成30年度に管理棟、中学部棟の大規模改修の実施が決定しております。来年度は工事に向けた実施設計が予定されております。それ以外の場所についても随時改修の要望は強く訴えていきたいと考えております。また、日々の生徒・教職員による清掃活動も引き続き取り組んでまいります。

2 学校行事に関して

**○運動会について検討してほしい。（開催時期、学部別、種目数など）**

地域との重なりを考慮し、9月最終週の土日交互開催を原則としております。また、30年度については大規模改修の実施が予定されていることから、秋季の運動会は実施できないため、1学期開催を検討しております。それ以降の実施時期も含めて検討を重ねてまいります。

**○行事の際、駐車場を確保してほしい。**

まず、運動会に関しては運動場自体を会場として使用するため、校内に駐車していただくことは難しいのが現状です。学習発表会や作品展については従来通り100台程度の駐車スペースは確保させていただきます。ただご希望数がそれ以上でしたら抽選になりますので、ご了承ください。今後も子どもたちの学習機会の提供と安全配慮を第一に考えてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

3 教育活動に関して

**○子どもたちの人権を尊重した丁寧な言葉かけや対応をお願いしたい。**

教職員が障がい理解を深めていくよう日々研鑽するとともに、児童生徒、保護者の思いをしっかりと受け止め、丁寧な対応をしていくことを確認していきたいと思っております。また、人権研修を企画し、人権意識の向上に努めてまいります。

**○スクールバスの事故が多く不安。乗務員の方の子どもたちへの対応について指導してほしい。**

バスの事故の件については誠に申し訳ございませんでした。今後も継続してバス会社には安全な運行を伝えてまいります。また、社内研修等で障がい理解の促進を要請するとともに、子どもたちへの丁寧な対応についてもお願いをしております。

**○特定の子もだけでなく、どの子にも注意を向けて指導してほしい。**

子どもたちの障がい特性や課題等に違いはあっても、すべてのお子様に注意を向け指導にあたってはありますが、今後も引き続きすべてのお子様に対して複数の目でしっかり注意を向け、関わりを深めていきたいと思っております。

**○教員の対応力等スキルアップや質の向上を望む。**

人権意識の向上に加え、さまざまな障がい特性の理解、授業力の向上をめざし、今後も引き続き研修等に取り組んでいきます。

**○地域の学校との交流を望む。**

現在本校では、小学部は上之島小学校・しょうとく園、中学部は上之島中学校、高等部は山本高校とそれぞれ交流を行っています。今年度も学校ブログにて情報発信の方は行ってまいりましたが、今後もより充実した交流になるよう、時期や内容を調整し、ホームページや学年通信等でご報告させていただきます。

**○連絡帳やクラスだより等で子どもの様子を詳しく伝えてほしい。返事やコメントについてもほしい。**

子どもたちの日々の様子については、できる限り詳しく伝えるようにしておりますが、さらに工夫・努力をしております。また、保護者様の記入に対してのお返事は忘れることなくさせていただきますよう注意してまいります。

**○夏場蚊が多いので対応をお願いしたい。（網戸の設置、防虫スプレー等）**

現在、蚊取りマットや防虫スプレーで対応をしているところですが、各校舎の1階教室等、夏場蚊の多い場所への対応を徹底していきたいと思っております。

○もう少し勉強面にも力を入れていただきたい。

個々の児童・生徒の実態把握をした上で各授業グループを設定し、それぞれの課題に応じた授業に取り組んでいます。また、社会参加に向けて生活の中で活かせるような内容も多くあります。学習内容については、ねらいや内容について保護者の皆様へしっかり説明をさせていただき取り組んでまいりたいと思います。また、基礎学力の底上げという点についても、子どもたちが自信を持てるように鋭意工夫を重ねていきたいと思います。ご不明な点やお聞きになりたいことがございましたら、担任を通じて教科担当までお問い合わせください。

## (4)まとめ【学校協議会の提言等】

- I 保護者向けと教職員向けの共通した項目の達成度を総合的に見た場合、すべての項目が達成基準に達しており、今年度の学校教育計画に基づく各種取り組み（支援）は、概ね達成していると捉えたいと思います。また生徒向けの達成度では、11項目中8項目が基準に達しましたが、「理解しやすい授業」が課題として挙げられました。今後も、人権意識の向上、授業力・専門性の向上を中心に据え、子どもたち一人ひとりの自立や社会参加に向け、保護者・地域外部機関等と連携しながら充実した教育活動が展開できるよう取り組んでいきたいと思ひます。
- II 今年度保護者との数値に開きのあった「人権尊重にもとづいた指導・配慮」「キャリア教育」「交流教育」について、引き続き課題として捉え改善を図っていきたく思ひます。また全体を通して、否定的意見の数値が高めのもの（20%台）について、特に改善に向け検討してまいります。教職員向けの課題「労働環境」等の面について、さらなる改善を図り、教育内容の充実につなげられるよう配慮していければと思ひます。

### 【学校協議会からの提言】

- ★「人権教育」において、保護者と教職員の数値の差があるところから、今後も引き続き大きな課題として取り組んでいただきたい。
- ★今年度、「キャリア教育」において、『ライフスキル調査』や『キャリア教育発達段階表を基にした評価基準』づくりが行われ、また障がい者差別解消法に対応して、『合理的配慮』の具体事例を集めるなどの取り組みが行われるなど、学校としての努力を感じる。一番大事なのは、これを実際の指導にどう生かすか、組織の上でどう反映させていくかである。データを取るところで終わらずに、どう返していくかについて考えていただきたい。

- III 昨年度から今年度にかけて、保護者の方から寄せられたご意見の中で、今年度検討し改善や対応ができた（対応する予定の）ものを一部挙げさせていただきます。

- 1) 施設設備の改善について・・・府における「学校老朽化対策事業」として、30年度より大規模改造を行う見通しとなり、改築の要望を取り、今年度の基本設計につなげました。次年度に実施設計が行われる予定です。その他として、プレハブ校舎の軒の張替え工事、また南東門の設置に伴って校舎南方面で部分的なアスファルト塗装、ゴミ置き場の整備、雨よけの設置などさまざまな改修工事が行われました。
- 2) ICTを活用した授業について・・・視覚的な支援を大切にして、授業において多く取り入れが進んできています。次年度より機器の充実をめざしていきたく思ひます。またそれだけにこだわることなく、教材・教具の工夫に努めます。
- 3) 不審者を防ぐ対応について・・・外部に開かれた行事（学習発表会・作品展）において、入場の際に確認をさせていただきました。今後ともご協力をお願いいたします。

\*ご意見につきましては、すぐにも実現できるものや検討に時間を要するもの等ございます。

今後もすべてのご意見について、各部や関係部署で真摯に検討を続けてまいります。

ご協力ありがとうございました。（\*この報告は、3月末までに学校ホームページに掲載いたします。）